

## 「青銅音曲V」無事終了～満員御礼！

2月11日(火)日暮里サニーホールで開催した自主公演「青銅音曲V」は、私たちの予想を上回る多くのお客さまにご来場いただき、無事終了しました。「二都物語～ソロとジョグジャカルタ～踊り三昧！」のタイトル通り、ゲスト舞踊家の皆様(佐久間新、ウイヤンタリ、小島夕季、針生すぐり)に、それぞれ持ち味の異なる華麗な踊りを披露していただき、大いに盛り上がりました。本公演の開催に際し、各方面でご協力下さった関係者の皆様に、心よりお礼申し上げます。

来年ランバンサリは結成20周年を迎えます。次回の自主公演は、より充実したプログラムを目指し、楽しい記念公演を企画中です。どうぞお楽しみに。

## ◆春のひとりごと～ガラパン～◆

木村 佳代

年1回の自主公演が2月に終わり、依頼演奏会も少ないこの季節は、私たちににとって一年間で最もゆとりのある季節です。こんな時は、「さて、これからどんな新しい曲を皆で練習していこうか」と考えをめぐらせます。演奏会に向けて同じ曲を何度も練習し、アンサンブルをまとめていくのも楽しみのひとつですが、まったく新しい曲に挑戦していくのも、また違った喜びがあります。

さて、そこでいつも悩むのが、今回のテーマ「ガラパン」です。

ガラパンって何じゃ？ 怪獣の名前？ 柄模様のパンツ？ …いえいえ、そうではありません。ひとことで言えば「曲の解釈」「演出の仕方」。もっと簡単に言ってしまうと「アレンジ」ということでしょうか。ガムランの音楽は、1曲に対して無数のアレンジの仕方があって、どのアレンジ、つまりガラパンで演奏するかというのが重要なのです。

話はそれますが、私たちはよく参考テープというものを作ります。これから練習する曲、あるいは演奏会で予定している曲をジャワで市販されているテープや現地録音などからダビングしてメンバーに配っているのですが、この元テープを作るのがけっこう苦勞するのです。たとえば「パンクル Pangkur」という有名な曲があります。この曲を、太鼓やグンデル、ボナンなど、新しくある楽器で勉強した人のために、皆で練習するとします。たいていは、一番簡単なアレンジで、テンポも少し変わる位で2～3回繰り返して終わりにします。でも、現地の録音テープで、そんなやり方で演奏しているものはまずありません。曲のテンポが何段階にも変わり、途中でいきなり止まったり、にぎやかな歌がついたり、たとえばバラランという全然違った形式のものが間にはさまったり…。参考テープにはこのような録音をダビングするのですが、初心者の方が聴いたら、おそらく同じ曲にはほとんど聞こえないでしょう。(参考テープにならない?) 逆に、現地で私たちからお願いして、初心者向けの何の飾りもない演奏を、参考テープのために録音させてもらったこともあるのですが、その時の演奏家たちは、何だかぎくしゃくしていつまらなそう…。演奏技術の参

考にはなるものの、今ひとつ盛り上がらない録音になってしまいました。

ガラパンという言葉、去年ジョグジャで買った小さな音楽用語事典で引いてみたら、「ひとつの曲を mengolah する方法」と書いてありました。mengolah という言葉を辞書で調べると、「加工する」「原料から製品を作る」という意味がある他、別の使い方として「冗談を言う」「からかう」「ふざける」という意味が書かれていました。二つめの意味は、ガラパンとは直接関係がないかもしれませんが、私は何となく「冗談を言う」「ふざける」といったことが、いい意味でガラパンの中に隠れているような気がするのです。つまり、ただ演奏するのではなく、ちょっと面白いアレンジを仕掛けることで場をわきたたせる—そんな演奏が好まれているように思うのです。

ジャワの長老たちは、「この曲はこういうガラパンで演奏するのがいい」と皆一家言持っているようで、音楽家同志でよくガラパンについて話し合ったりしています。こんなこともありました。ある有名な太鼓奏者が『ジヌマン・ウラル・カンバン』という曲の新しいガラパンを考えていたら、昨日は夜を明かしてしまった」と。この曲は、ふつうチブロンという太鼓を使って演奏するのが決まりなのですが、この方は、別の太鼓を使ってもっとゆったりバージョンで演奏できないものかと…。あれこれ考えるのが楽しいのでしょねえ。ある練習会でさっそくその新バージョンを試してみても、茶目っ気のある笑顔を見せていました。その時はまだ創作の途中でしたが、満足のいく方法が出来上がったものか今度お会いしたら聞いてみたいと思っています。こうして、いろんな演奏家がいろんなガラパンを考え、それが面白いと評判になると、ある時期そのガラパンが流行って、どこの演奏会でも同じガラパンが演奏されていたりするのです。そして演奏技術と同じくらい、いやもしかしたらそれ以上にその場の雰囲気や演奏の趣旨、メンバーの顔ぶれなどに合ったガラパンを選ぶセンスが重要となっているように思えます。同じ曲を演奏するにも、どのようなガラパンを選ぶかによって、その日の演奏が大いに盛り上がるか、ほどほどに終わるか、の分かれ目にさえるような気がします。

さて、私たちは、ここ日本で、まだまだたいそうなガラパンで演奏することはできませんが、少しずついろんなものに挑戦しています。最近では、たとえば、影絵芝居の名ダラン(人形遣い)で名作曲家のナルト・サブド氏がいろんな古典曲をアレンジして作った男女の歌がお気に入り、いくつか練習を始めています。どれもけっこう早口言葉のような歌でむずかしいのですが、メロディーがかわいらしくて耳に心地よいものが多く、いつか演奏会でも披露できたらいいなと思っています。今はまだこうして現地ジャワでよくやられているガラパンをまねしているだけですが、そのうち日本ならでは、私たちならでは新しいガラパンが生まれたり面白いな…と、ひそかに期待しています。



## ランバンサリ&多聞天 今後の活動予定

### 第13回多聞天アジア文化講座 ジャワ舞踊レクチャーシリーズ Part1 踊りと音楽の関係

講師：飯島かほる  
日時：5月10日(土) 14:00 (開場 13:30)  
会場：ランバンサリ・スタジオ  
会費：1,000円 (一般)  
500円 (友の会会員)  
ジャワティー付き  
定員：30名 (要予約)

ジャワ舞踊はガムラン音楽同様、数学的な理論に基づいて構成されています。この理論を理解しつつ、同時に流れるような動きを維持するところにジャワ舞踊の面白さと難しさ、そして奥の深さがあるといえます。踊りを理解したり、実践するには、まず音楽を体を感じることから始まります。今回のレクチャーでは、比較的短いサイクルのクタワン(Ketawang)という種類の曲を例にとり、踊りとガムラン音楽の関係について解説します。

飯島かほる：ハワイ大学音楽学部民族音楽科卒業。在学中に、ジャワガムランと舞踊、中国(京劇)音楽、沖縄三線等を学ぶ。1980年代後半から頻りにジャワに滞在し、ガムランを学ぶと同時にジャワ舞踊の大家 S. Ngaliman 氏に師事する。93~97年インドネシア国費留学生としてソロに在住。98年より日本において「サンガール・パムンカス」を主宰、以後、公演を中心に積極的に活動を行っている。

<http://homepage3.nifty.com/javanesedance/>

### 第18回満月の夜の会 初夏のランラン・ガムラン

演奏：ガムラングループ・ランバンサリ  
日時：6月1日(日) 15:00 (開場 14:30)  
会場：ランバンサリ・スタジオ  
会費：500円 (一般)  
無料 (友の会会員)  
ジャワティー&お菓子付き  
定員：30名 (要予約)

恒例の「ランラン・ガムラン」の季節がやってきました。ランバンサリのメンバーが、それぞれ日頃あまり演奏する機会のない楽器に挑戦します。通常の演奏会ではめったに見られない配役での演奏をお楽しみ下さい。

プログラム：Lanc. Majemuk, Ldr. Lagu, Ldr. Ayun-ayun  
Gd. Rondon Cilik, Jineman Uler Kambang  
Lanc. Baito Kandas ~ Ldr. Kalongking  
Ldr. Embat-embat Penjalín, Ldr. Wilujeng

### パティック講座

マイペースで作品作りに取り組めるのが特徴です。ハンカチなどの身近なものから、カインパンジャンという一枚布まで、幅広くご指導します。エスニックの薫りあふれる小物からウェアにインテリアに生活の彩りにお楽しみください。

日時：4月27日(日) 14:00~17:00  
5月25日(日) 14:00~17:00  
6月22日(日) 14:00~17:00  
会場：ランバンサリ・スタジオ

講師：中右絢子(なかう あやこ)  
用意するもの：エプロン、4Bの鉛筆、洗濯ばさみ4つ。その他の材料、道具等は先生が準備して下さいます。  
参加費：3,600円 (一般)  
3,100円 (友の会正会員)  
\*初回はハンカチ布代が別途必要となります。

### 日曜ガムラン

どなたでも楽しめるガムラン練習。初心者大歓迎。1回だけの参加もOKです。継続して参加したい人には、さらにオススメです。  
日時：5月4日(日) 16:00~18:00  
5月18日(日) 16:00~18:00  
6月15日(日) 16:00~18:00  
会場：ランバンサリ・スタジオ  
参加費：2,000円

\* \* \* \* \*

### 演奏活動報告(3月~4月)

- ◎JAWA NIGHT at ちめんかのや<中野区沼袋>(3月15日)  
演奏：ガムラン・トッカー  
舞踊：小島夕季  
ランバンサリのメンバーによる小編成ガムランユニット「ガムラン・トッカー」がデビューしました。
- ◎モンスーン・カフェ銀座店オープニングパーティー(4月4日)  
演奏：ランバンサリ 舞踊：飯島かほる
- ◎第12回多聞天アジア文化講座live編(4月19日)  
「おぼろ月夜の歌姫たち」<ランバンサリ・スタジオ>  
演奏：桜井真樹子(ヴォーカル)、高橋裕(ギター)  
ガドング(ガムラン/ランバンサリ・メンバーより)

### メール通信会員募集中

ランバンサリ&多聞天の今後の活動予定を掲載した「ランバンサリ通信メール版」を無料でお送りしています。ご希望の方は「ランバンサリ通信メール版希望」と書いて、お名前とEメールアドレスを以下のアドレスまでお知らせ下さい。  
メール通信担当 E-mail: o-moon@zd5.so-net.ne.jp

### <編集後記>

例年、2月の自主公演が終わると、ようやく遅い冬休みという気分です。しばらくのんびりとしていたランバンサリの練習も、新しいレパートリーや楽器への挑戦、演奏会へ向けての準備など、暖かさに誘われて、にわかには活気づいてきました。最近の土曜日練習は、「ランラン・ガムラン」のプログラムを中心に取り上げ、大いに盛り上がっています。日頃やらない楽器の前にすわると、とても新鮮で、うきうきとしてしまいます。何だか新しい恋人ができたような気分で、慣れない相手(楽器ですよ!)の性格を探りながら、少しずつ仲良くなっていく感じが、とても楽しい今日このごろです。違う楽器を演奏すると、お馴染みの曲でもいろいろと新たな発見があり、これだからガムランはなかなかやめられません。(K)

### ■お申し込み・お問い合わせ：ランバンサリ事務局■

Tel & Fax: 03-5300-6361 (木村)  
E-mail: o-moon@zd5.so-net.ne.jp

講座のお申し込み・公演の予約ご希望の方は、住所、氏名、講座・公演名を明記の上、ハガキ、電話、ファクス、Eメールのいずれかで、ご連絡下さい。

### ■ランバンサリ通信 2003年 No.2■

発行：ランバンサリ通信編集局  
編集：村上圭子  
2003年4月20日発行